

講義名	(対面)研究演習		
講義コード	25054	授業形態	
担当教員	栗原 正憲		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限		
備考			

ゼミ
栗原正憲ゼミナール
学部
人間社会学部
学科
観光学科
演習名
交通事業経営論

概要説明
<p>交通機関の発達によって、観光産業は大きく成長してきました。航空産業はじめ交通機関が発揮する今後の観光促進策について研究する。</p> <p>(1)まず観光産業を取り巻く事業環境(旅行業、ホテル業、交通運輸業)の概要を学習する。</p> <p>(2)交通輸送機関の進化について考察する。</p> <p>(3)社会連携活動を通して観光促進策を立案し発表する。グループワークによって必要とされるチームワーク力・コミュニケーション力・人間力を身につけます。</p>

学位
商学士

教員よりの要望
<p>本気を出して下さい。「授業時間だけ出席して、案に単位を取りたい。」という学生には向かないゼミです。授業での議論に積極的に参加し議論して、決まったことは責任持って行動を起こす学生の参加を期待しています。</p>

教員英字氏名
kurihara Masanori
研究室
5427研究室(5棟4階)
最終学歴
明治大学商学部商学科卒業
主な研究活動・社会活動・研究業績

主な研究活動：今後の格安航空社(LCC)の経営戦略
 社会貢献活動：淡路島仁井地区社会貢献活動(Nプロジェクト)
 研究業績：「地域創生の戦略と実践」(共著)見洋書房など

主な卒業論文のタイトル
<p>2017, 2018年度卒業研究演習学生が提出した主なタイトルは、以下の通りです。</p> <p>調理師がもたらす地域活性化効果 アイコンタクトが生み出す円滑な仲間づくり効果</p>

趣味・特技
<p>ギターの弾き語り、農作業、アウトドアキャンプ、映画鑑賞、国内・海外旅行</p>

所属
流通科学大学人間社会学部観光学科教授

所属学会

専門分野
航空事業経営、ホスピタリティマネジメント、観光まちづくり

選考方法
skypeによるオンライン個別面接実施

担当科目
<p>教養基礎(観光学へのいざない)、航空(交通)事業経営論、海外ホスピタリティ研修、ホスピタリティマネジメント論、キャリアビジネス論(営業の知識)、自己発見とキャリア開発A、自己発見とキャリア開発B、研究演習</p>

備考
<p>開講曜日以外の日程(週末など)に活動を実施することがあり、原則として全員参加を求めます。活動には交通費程度の個人負担が発生します。この授業は対面授業を前提とするが、授業環境によってはオンデマンド授業となる場合は、講義連絡によって通知するので留意すること。</p>

評価方法
ゼミ活動活性化への貢献度、授業内での討論参加と行動力、研究発表内容を総合的に評価します。

実務経験の有無及び活用
<p>「実務経歴あり」 航空会社での勤務(本社部門、営業部門、空港部門、客室乗務員部門、整備部門など)経験を生かして、交通事業全般の実践的な企業活動を紹介し、頭の中で想像するだけでなくより具体的な企画へブレイクダウンしていくよう役立てる。また組織長としての長い経験をもとに、ゼミ生の社会人基礎力向上を図り、企業が求める人材へと指導する。</p>